

【取材調整可能・有識者(大学教員)のご紹介】

クリスマスやバレンタインはカップル成立数が多い？恋愛イベントが目白押しの冬本番

「恋人欲しい病」「人肌恋しい病」を 心理学の立場から解説

摂南大学 経営学部 経営学科 牧野 幸志(マキノ コウシ)准教授

摂南大学（大阪府寝屋川市、学長：荻田喜代一）では、9学部17学科にわたる専門分野を持つ教員への取材を受け付けております。今回は、**摂南大学 経営学部 経営学科の牧野 幸志准教授**を紹介します。

冬の夜を彩るイルミネーションやクリスマスツリーを目にする機会が増え、2023年のクリスマスシーズンが幕を開けました。クリスマスが終わるとすぐに2024年が始まり、バレンタイン、ホワイトデーが続きます。恋愛イベントが目白押しの冬は、「恋人欲しい病」「人肌恋しい病」の人が大量発生します。

オミカレ婚活実態調査の「クリスマスの理想と現実」によると、婚活男女にとって「独り身には辛い・・・」と感じるのはクリスマス、バレンタインデー、年越しイベントなど「冬に関連するイベント」が多くの票を集めました。また、上位にはランクインしなかったものの、ホワイトデーやウィンタースポーツも、好きな人やパートナーと過ごしたいイベントとして認知されています。

「恋愛関係崩壊時の話し合い方略とその効果」の研究や、「結婚の質に及ぼす夫婦間ユーモアの影響」「日本における現代青年の浮気に関する基礎研究」などの論文を書く、牧野 幸志(マキノ コウシ)准教授がそんな冬の恋人需要を、心理学の立場から解説します。

ご取材希望の方は下記広報事務局までご連絡ください。

◆プロフィール

所属 : 経営学部 経営学科
職位 : 准教授
学位・資格 : 博士（心理学）
研究分野 : 心理学、社会心理学



牧野 幸志 准教授

◆お話しできること

- ・冬の恋愛イベントにおける男女心理の変化
- ・恋愛感情がもたらす行動の変化
- ・SNSでの誹謗中傷をしてしまう人の心情
- ・AI介入によるコミュニケーションの変化
- ・新時代に必要なコミュニケーション能力

※できる限り調整をさせていただきますが、取材のタイミングによってはお受けできない可能性もある旨ご了承ください。

【報道関係者様のお問い合わせ先】

摂南大学広報事務局（アンティル内） 担当：佐藤、阿部、水原、藤井、大瀧

TEL : 06-6225-7781 E-MAIL : setsunan_pr@vectorinc.co.jp